

令和元年第3回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

令和元年10月2日開議

令和元年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

- 1. 召集日時 令和元年10月2日(水) 午前10時
- 2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
- 3. 出席委員 教育長 船迫邦則, 委員 佐山富夫, 委員 阿部誠, 委員 佐藤よし美
- 4. 欠席委員 委員 大沼吉朗

なし

5. 説明のため出席した者

教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章, 仙南芸術文化センター館長 玉淵博之, 主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良, 主査 山田純土, 主事 若林あい子

- 6. 開 会 午前10時

7. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、阿部誠委員にお願いいたします。
阿部委員	はい。

8. 諸報告

報告第1号 令和元年6月から同年9月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹より資料1にてご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉淵館長よりご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐藤委員	いつもながら生の子供たちの姿、真剣に観ている表情とかを映像で観ることができました。保護者の方々も大分参加していただき、今年も盛り上がり良かったと思います。1回も参加できなくて私も残念ですが、映像で見せていただけて、ありがたいです。
阿部委員	ダンスの授業、船岡小学校ですが、講師の先生は？
玉淵館長	船岡小学校の4年生ですが、3クラスありまして、クラスを半分に分けて全体で2つに分けて実施しました。講師の ISOPP さんは、この地域では浸透していて、この事業を担当した学校の先生方が、ISOPP さんというだけでまた呼びたいというほどでした。
阿部委員	体育の授業の中で、最近の中学生ですが、昔創作ダンスということで、音楽を流したりということ、型にはまりすぎている、真面目過ぎるというのですかね、子供たちがあまり乗ってこないということがあって、本当だと、汗を流したり、自分でどんどん身体を動かしてやっていくのが、本当のダンスだと思います。そういったことが、今の映像を観ると、小学生のうちから自分から進んで動いて汗を流して表現するというのが、いいと思います。
玉淵館長	確かに、教育課程の中にダンスが取り入れられた当時と今とを比べても、子供たちのダンスに対する取り組み方は、基本的に変っていないのですが、結構、リズム感とか、良くなって来ている印象があります。これからそのような子どもたちが、

阿部委員	中学生、高校生と進んでいって、頑張っていって身体を使った表現というのは、大事ではないかと思います。 汗をしっかりと流しているのはとても良いことだと思います。
教育次長	私も別な日にアウトリーチに参りまして、実際に現場を観てきたのですが、担任の先生が、この子はどうも踊るとか、人前に出て何かをするとか、体育に苦手意識があつてむずかしいかもしれないといっていた子とか、すごい引っ込み思案で自分で発表するのが絶対できないような子とか、事前に情報をいただいていた子どもが、あのノリでだんだん引き出されていって、最後は自発的にやりたいといつてステージに上がって発表をする時に、前面に出て来てやっついて、先生がびっくりしたというようなこともあり、私が一日2か所のアウトリーチに行っただけでも、そのようなことが起きたりします。やはり、アーティストの方が引き出すものなのですけども、あのようなことがあるだけでも、事業をやる意味があるのではないかと思います。
佐山委員	年間に何回やっているのか？
玉渕館長	多い時には、40～50回、もっと多かった時もあったのですが、平均して、30～40回ぐらいです。それでも、学校の数を数えたり、アウトリーチの場合ですが、どうしても学校単位というよりは教室単位、小さい学校でも学年単位だったり、結構多くなっています。大きい学校に行けないということを、問題にしたいと思います。大河原小学校とかは、一番地元の学校ですし、行きたいと思うのですが、なかなか行くことが出来ていないです。むしろ、南小学校は行っているのですが、このことは生徒数、児童数が多い所は平等にという観念から、なかなか手を挙げられないので、考えていきたいと思います。
佐山委員	どのビデオを観ても、参観者がいないと思います。他の学校の先生とか、他のクラスの先生とか、もうすでに素晴らしさはわかっているのかもしれないけれども、角田市内だったら、どこかでやるのだけれども、先生方に声をかけて、見学でもいいのかなと思います。
玉渕館長	そういう場もあつていいと思います。子どもたちが集中力が欠けないように、むしろ、閉じた空間で、教室や音楽アウトリーチの音楽教室の中で観覧者というか、どうしても見たいという方は、別にえずこ側からはシャットアウトはしていないのですけれども、大幅に開いた空間でやる場合は、むしろ、やっていません。それは、やはり子どもたちがやっているのだから、子どもたちが集中力が欠けないようにと、一つの配慮です。ただ、知ってもらふという意味では、そういう場を作ることも有りだなと思います。
若林主事	補足させていただきますと、ISOPPさんのダンスは、参観者ではなく参加していただくのが条件となっているので、先生方も一緒に踊ってもらいます。見てもらうのをできるだけ、NGにして、参加していただくように同じ時間を共有していただくようお願いしているので、改めて、参観者という方が目に見える形ではないと思います。
玉渕館長	学校によっては、先生方が校長先生の前で、先生チームを作って子供たちと一緒に参加するという時間です。先生も生徒もないような時間帯、外部講師というアーティストが入ると、違った空気が生まれます。

船迫教育長	私たちの年代だと、文化というのは見る、聞く、というイメージですが、今の映像を観ると参加するという、そのように変わってきているのだと思います。
教育次長	私が行かせていただいた横倉小学校ですが、先生方も積極的に子どもたちと一緒に踊っていました。
佐山委員	体育の新しい方向性みたいなものが、感性の教育みたいなものから考えると、今までは受けるだけ、そこから受ける感動とか、こちらから発露させるみたいな、そういう方向性が見えると面白いと思います。
玉淵館長	まさにその方向にあって、アーティストや芸術が何のためにあるのか、社会の問題とか社会包摂みたいなところ、関わりを持つためのツールだったりするような近い所に配置して、人とかかわりを作るというところに、アーティストもすごく有名な人であれば、見てもらうという側に立ったりもするが、それだけでなく、実際にそのアーティストのきたところで一緒に何かをするというふうにしている傾向が強いです。そうじゃないと、本当のアーティストと言わないのではないかというところも言われていることがあって、これは私たちのような地方の施策ではさらに接近したところで関わりを持つということです。
船迫教育長	2市7町にケアハウスが増えていますけれども、ケアハウス訪問というのはあったのですか？
若林主事	今見ていただいたダンサーさんではないのですが、他にもいろいろなアーティストを福祉施設とかいろいろ行かせていただいております。結構有名なアーティストのフローレンスさんとか海外のアーティストがいらっしゃった時には近くの村田町のふぼうとかお邪魔して、柏木さんとかが来ています。
船迫教育長	ぜひ教育委員の皆様にも心のケアハウスにも来ていただけるように情報を流していただければありがたいと思います。
	<質疑なし>

10. 議事

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

令和元年9月9日に行った教育行政点検評価員会議における平成30年度仙南地域広域行政事務組合教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果について、黒澤主幹及び玉淵館長より別紙資料2にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
船迫教育長	学校・社会教育専門部会関係で、英語の教材等の購入とありますが、理事長がそのような考えですので、承知していただきたい。ぜひ、具体化に向けて、よろしく願いいたします。教育委員が動けばいいが、私が理事長に、早速このような教材を購入して、英語教育を進めていきたいと思います、と話しておきたいと思います。もう1点、自作視聴覚教材で小学生が作品を制作したと思いますが、これなども根絶やしにならないように、何とか子どもたちが自分の住んでいる地域に目を向けて、その地域のものを他に紹介したいという思いは非常に大事にしてあげたいと思います。ぜひ今年もよろしく願いいたします。
黒澤主幹	今年も、柴田町から話をいただきまして、引き続き制作しますということでした。後で、私が説明に伺って、実際に出していただきます。

船迫教育長	結果については、小学生なので、なかなか難しいと思いますが、そこに挑戦していくというのが、大変素晴らしいのではないかと思います。
佐藤委員	本当に限られた人数の中で、たくさんの事業をされていると感心しています。課題もたくさんありまして、それを積極的にこうしていこうということが書かれてあるので、次年度に繋がるものになっているのではないかと思います。その中で、例えば、各教育委員の方に他の市町にも情報を提供してほしい、伝えてほしいとか、ここにいらっしゃっていない市町への連絡、報告、お願いみたいなものはどうなっているか？
教育次長	まず、基本的な流れとしては、各市町の教育委員会の生涯学習担当課長がいらっしゃいまして、年に数回課長会議を開いております。その場でいろいろ説明申し上げたり、お願いしたいことについてはお願いするというのもやっているのですが、今、点検評価報告書という形でこういう課題がある、それに対してこう対応していかなければならないけれども、事務局として、こういう難しさを抱えていることはありまして、どうしてもそういった会議の場で、あまり時間を取って説明する機会がないのが確かでございますので、報告書を使ってもう少し丁寧に説明していくことも必要だと思います。あとは、端的な例で、申し上げて恐縮ですが、私共でやっています AZ9 の事業ですとか、毎年募集をかけて実施をしているのですが、結構教育委員会の方に文書でお願いしまして、各学校での配付をお願いするというところで、話をしているのですが、実際に学校現場に行くと、教務主任の先生とか教頭先生とか、そういったところでストップして、締め切り間際になって、チラシがないということで、どうなっているのか、という保護者の声があって初めて配られたといったケースもあり、毎年文書の中でも子どもたちが参加できる機会なのでぜひお願いしますとお伝えしていますが、うまくいかないところがありまして、投げかけ方を変えていかなければならないと思っております。なかなか難しいところでもあります。
玉淵館長	定例の事務的な部分での情報交換は、学校に直接、アウトリーチ事業などはそうなのですが、現場同士でつながるといのがいかに重要かというのがあって、そこを中心に行っているのですが、教育委員会という仕組みそのものをもう少し効率よく運用できたらいいというのはあるので、いい意味でえずこホールも独自にやってこれたというところを強みにして、そういうノウハウを蓄積してきたというところもあり、もともとある仕組みを運用していくことが課題だと思います。市町の課長さんを含めて担当者の方々と情報交換の場を短い時間であっても作って、情報共有をしていければと思います。点検評価員からも、ミュージシャンの方からも言われたのですが、アウトリーチ事業の市町との連携は、えずこホールは一方的なのですか？そこは、双方向的になることが、有効だと思うので、そういうことも含めて検討しなければならないと思います。
佐藤委員	私も実は、なかなかアウトリーチのことについても、現場の時には、退職間際になって聞いたみたいな感じです。あと、いろんな鑑賞などもお金を出すというのが基本になっていたと思います。こんなに素晴らしいものがたくさんあったんだというのを知らないでいる先生方とか、学校もたくさんあるのだろうと改めて思いました。本当に、広報は難しいと思いますが、いろいろ手を尽くせばいいなと思っております。素晴らしいので、もったいないと思います。
船迫教育長	窓口が各市町の教育委員会の生涯学習課長になると思いますので、生涯学習課長に

	話を通した時に、どこの市町でも毎月1回校長会をやっています。その校長会の場で、生涯学習課長からぜひ周知をお願いします、というようなお願いの仕方に変えただけでも、伝わり具合が違ってくると思います。
佐山委員	広報活動が載っていますが、本当に難しいと思います。これだけいろいろやっているが、受け取る側が知らなかったという人がかなり多いので、角田市では、道の駅を売り出そうとしている時に、やはりこういうチラシ等を撒いたりしているのですが、なかなかそれだけではうまく浸透しない。一番効果があったのは、やはりFacebookなのですね。要するに、口コミ的な伝わり方がかなり浸透していったということで、来場していただいた方々に対して、アンケート調査すると、Facebookで知ったという人が多くて、あとは、今年から始まっているのですが、こういうチラシのところにQRコードを載せていただけると、意外と紙ベースでは届かないですが、チラシを見なくてもスマホの中に確認できるようなそういう状況にさせていただくともっと広がると思います。これは、今の角田市の観光の手法なのですが、そういうことを参考にして、むしろ、スマホの方がかえっていいのかなと思いました。
船迫教育長	おでかけあずなびあですが、時間は何分ぐらいの事業ですか？
黒澤主幹	1時間半くらいです。
若林主事	先生たちと一緒にDVDを観て、踊って、その後、参観なので一緒に踊ります。ご要望いただいたときには、時間についてはお任せしています。その時間帯でやってほしいと言われれば、その時間帯に合わせて調整します。
佐藤委員	自作視聴覚教材のデジタル化ですが、現在保有している自作視聴覚教材については？ 今後は、発表会に参加した作品は？
黒澤主幹	現在保有している自作視聴覚教材については、全てデジタル化しています。発表会に参加した作品については、制作者の許諾を得てから、デジタル化及び貸出を行っています。
佐藤委員	先ほどの丸森町の利用については？
黒澤主幹	今まで丸森町について制作された自作視聴覚教材をまとめて貸出し、事業の時に会場で自由に見られるようにして、見て頂いたので、相当数の人数のカウントになったということです。
佐藤委員	各市町の文化祭みたいなものとかいろんなところでの活用とかができると思います。
黒澤主幹	そのような使い方はできると思います。各市町との調整が必要になります。
佐藤委員	あとは、保育園の先生方ですか、16ミリの良さもあるということでの利用は？
黒澤主幹	先生方は、テレビを使わないで、実際に直接子供たちとやり取りをしながら、紙しばいを使ったり、パネルシアターを使ったり、そういったことをやりたいということでの、映画館の雰囲気、暗い中で画面に集中して観るということをやりたいということで、根強い利用をいただいております。
佐藤委員	いい経験ですよ。デジタル化されています、というのが広まればいいと思います。
船迫教育長	AZ9の各市町の特色化したというのは、見通しというのは？ 各市町の持ちネタというのは発掘できますか？
若林主事	どの市町とっても、すごくたくさん魅力的なネタはあるので、ちょうど今年で2市

	<p>7町を1週する形なのです。来年度は、柴田町を題材にしようかというところですが、内々には、話をしています。</p>
船迫教育長	白石市を題材にした今年度の内容についてお話しください。
若林主事	<p>今回の作品の一番新しい情報です。今年は、こけしくんとニポポちゃんという内容で、白石市の開拓のお話を題材としていまして、片倉家の少年と現地のアイヌの少年との二人の友情を描いたものとなっています。今年は、白石市を舞台に白石片倉家と北海道に白石の人が来て、アイヌの人たちは場所を奪われて、そこにオオカミとかの先住民の方々や別の動物たちとのテリトリーがあって、難しいと思うが、どうやって共存していくか、を描いた内容となっています。結構、難しい内容でありますけれども、脚本家のクマガイコウキ先生がとても分かりやすく、子どもたちが演じやすく作っていただいているので、今年もとても見ごたえがあるものになっています。子供たちにも、白石の歴史を知ってほしいということで、アウトリーチも今年は、白石市を大分いろいろイベントに参加させていただいて、今週末の5日も鬼小十郎まつりがございまして、すまいるひろばでイベントで発表させていただくことになっています。他に、10月14日に白石散策ということで、子供たちに白石の歴史に触れていただきたいということで、白石城とか武家屋敷を周らせていただく企画もあります。他にも、福祉まつり（白石市・柴田町）に参加させていただきたいと思います。そういったところで、公演を紹介させていただいて、活動を行っていききたいと思います。</p>
船迫教育長	<p>首長さんも自分の町が取り上げられるということで、角田市、川崎町、と関心が高まっていると思いますので、ぜひ頑張ってください。</p>
佐藤委員	白石市と登別市との交流をしているが、そのようなことは考えてはいないですか？
教育次長	<p>実は、今回、10月14日に白石散策、歴史散策的なことをやろうということで、考えておりまして、その関係で白石市の生涯学習課の方にこの辺りの話を聞く機会を設けたりということも考えておりまして、うまいこと、今年の公演の方が上手に行ったとして、それを何かしらの形でアレンジして、例えば、姉妹都市交流の方に絡ませていただくみたいな発展形はあるのではないかとということで、担当者の方に話を、まずは散策を足掛かりにさせていただければと、思惑としてはあります。</p>
佐藤委員	何か可能性がありそうな中身だなと思います。
教育次長	<p>それこそ、札幌市の白石区に乗り込んで、公演みたいなことを出来たら、理想形ではあるのですが。ただ、やはり、実際の事業としてやるとすれば、当然財政面の話も出てまいりますので、その辺を何かしら既存の枠組みの中で載せていただく余地があるのであれば、ぜひ、それをすることで、私共としてもこの活動の機会が広がりますし、公演のモチーフになった白石市の方にも何かしらこちらの方で協力できることがあるということがありますので、その辺何かもう少し話が進んだら、お力添えの方をいただきたいと思います。</p>
阿部委員	札幌市白石区との関係では？
若林主事	<p>舞台が北海道になり、白石市が題材になるのですが、舞台自体は北海道が大体舞台設定となっています。姉妹都市交流の関係もあるので、上手に白石市と絡めていければいいと思います。</p>
阿部委員	<p>私がかつて白石中学校にいたので、札幌市白石中学校と3年に1回交流しています。私が教頭先生の時に来ていただいたこともあり、校長先生の時には教頭先生に</p>

	行ってもらいました。
教 育 次 長	歴史散策の時に生涯学習課の補佐に来ていただけるということで、姉妹都市交流担当の総務課の担当者に顔つなぎをしていただければと思います。
阿 部 委 員	毎年少年の主張ということで、弁論を行い、お互いに交流を図っていますので、総務課の方にお願ひすれば、すんなりと進むのではないかと思います。
	<質疑なし>

1 1. 次回教育委員会定例会の日程について

船迫教育長	令和元年11月25日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	-----------------------------------

1 2. その他

○ 令和元年度全国自作視聴覚教材コンクール入賞について

黒澤主幹より資料3にてご説明申し上げます。

令和元年8月5日・6日に行われた令和元年度全国自作視聴覚教材コンクールに、仙南地区からは6作品を出品し、うち2作品(玉手富士夫氏[角田市]「はしれ!あぶきゅう」<紙しばい>、あべひろこ氏[柴田町]「もみの木はなぜのこったの?」<紙しばい>)が社会教育部門で入選した。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

○ 令和元年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算(第1号)について

山田主査より別紙資料4にてご説明申し上げます。

今回の補正の要点は前年度繰越金の処理である。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

○ 令和元年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算(第1号)について

玉淵館長より別紙資料5にてご説明申し上げます。

今回の補正の要点は前年度繰越金及び確定した国庫補助金の処理である。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

1 3. 閉 会 午後12時05分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和元年10月2日

教 育 長

署名委員